

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年9月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103193
法人名	社会法人 松恵会
事業所名	グルーぷホームほのぼの
所在地	鹿児島県鹿児島市西別府町1801 (電話) 099-283-7112
自己評価作成日	平成28年8月12日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成28年9月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グルーぷホームほのぼのは、自然に恵まれ小鳥のさえずりが聞こえ、朝日に目覚め夕日を楽しむ環境にあります。ほのぼの入居様は、穏やかなぬくもりに満ちた優しい気持ちで入居様同士声を掛け合い、楽しみながら生活されています。スタッフは、高齢で介護度の重い方が多い中、入居様が出来ないことを一緒に手助けしながらゆったりと過ごされるよう心がけています。年間の行事や外出は利用者様やご家族様の希望を取り入れ、その方にあった個別処遇などを計画しております。入居様の喜び、寂しさは寄り添い少しでも小さくできるよう支援しています。又ご家族や地域の方々と交流できるように民生委員の方々の協力や情報を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市の郊外自然環境に恵まれた閑静な地に立地しているグループホームである。広い敷地には法人の特別養護老人ホーム・ディサービス・系列病院等が隣接しており緊急時の対応や災害時の協力体制が築かれて夜勤時の職員・家族の安心に繋がっている。

個々の残存能力を活かした個別支援や本人の思いや希望に添った年2回の個別処遇の外出支援を取り入れ温泉・陶芸・デパート・カラオケ・外食などこれまでの馴染みの場所や生活習慣、趣味の継続を支援している。他にも園外活動として初詣、水族館、くだもの刈り、家族とともに外食や手作り弁当持参の花見などに出かけている。日常的にも近くの物産館や無人販売所に食材の買い物に出かけたり、地域の神社の清掃活動やしめ縄作りなどにも利用者とともに参加して積極的に地域交流に努めている。

食材をふんだんに使用して栄養バランスのいい家庭的な食事を提供しておりおやつも職員手作りで季節の行事食や外食など「食」が楽しめるようにさまざまな趣向を凝らして支援している。

法人全体で職員育成にも取り組んでおり働きながら学ぶ環境が整備されて現在全職員が介護福祉士を取得してスムーズな業務と質の高いサービスの提供がなされている。管理者・職員は今後の目標をしっかりと持っており更なる質の向上を目指している。利用者の表情も明るく、開放的で家庭的な雰囲気のグループホームである。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ．理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り後理念を唱和しております。理念は玄関・スタッフ室・台所に貼りスタッフの意識できるようにしています。	理念は地域密着型サービスの意義を踏まえ職員の意見や思いを集約して作成している。玄関、事務所内、職員の目につきやすい台所に掲示している。毎朝朝礼時に唱和することで職員の意識づけを図っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の民生委員の方々との協力や情報を頂き、地域の花餼えやしめ縄作り、神社の掃除、ゴミ拾いなどに入居者様をお連れして地域の方々と交流しています。	法人の施設の敷地内に立地していることからなかなか地域の方々が日常的に訪れる環境にないが、地域活動の情報をもらって清掃活動やしめ縄作り、校区文化祭に作品出品するなどして利用者とともに参加・見学し、積極的に地域交流に努めている。小中学生の体験実習の受け入れも行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方々が野菜売り出やパンの販売に来て下さいますので入居者様をお連れして話が弾めます。又、秋の田上小学校の文化祭に臨床美術を出品して、グループホームを知っていただく機会を作っています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回運営推進会議を開催し、入居様・ご家族代表も出席。臨床美術・避難訓練・家族会にも、民生委員、地域包括の職員の参加をもらい意見を頂いています。	家族代表、利用者代表、行政、民生委員等の参加があり、2ヶ月に1回開催している。ときには、家族会、避難訓練時に行うこともあり多数の家族の参加も得られている。ホームからの報告や問題点などについて参加者からの助言をもらうなど充実した内容の会議となっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員の受け入れや諸手続きに出向いた時など情報交換や指導をうけています。	運営推進会議に毎回参加してもらっており、ホームの実情や取り組みを伝えている。また、相談等で日頃から連携を図り協力関係を築いている。毎年介護相談員の受け入れも行っている、	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束委員会を開催しております。ほのぼのでのスキルアップ研修や、法人全体の職員研修かいでも、身体拘束委員会の勉強会を行っています。玄関に鍵をかけずにかいほうしドアが開くと鈴の音がしその都度確認し、職員の連携も密にしています。	身体拘束委員会を設置して法人全体での定期的な勉強会や毎月の話し合いで禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解できるように職員の共有認識を図っている。日中は玄関の施錠などはないで職員間の連携で安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修会やスタッフ会議の中でスキルアップ研修として勉強会を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修会で勉強会を行っています。又運営推進会議で、地域包括支援センターの職員に助言を頂いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に重要事項説明書、契約書、個人情報に関する説明をして、質問等ないか確認しています。改定時には、直接説明し確認しています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱も設置しております。又ご家族との会話、家族会、運営推進会議での意見や希望を聞き、代表者に報告しています。その後の報告や改善などを、スタッフ会議で検討しています。	日常の面会時、家族会、行事参加、電話連絡時、運営推進会議等で家族から意見や要望を聞き出している。家族会には毎回多数の参加が得られ家族間の情報交換の機会ともなっている。利用者ごとの担当者は決めているが全職員が対応できるように情報の共有が図られている。家族から出された要望等については職員間で検討して改善に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月始めに全員参加でスタッフ会議を行っています。その中で意見交換し、皆で話し合っています。専門的な相談事は、主治医や専門の方などに相談し臨時でスタッフ会議を行っています。	毎月のスタッフ会議、日常の申し送りなどで職員の意見や提案を聞いて話し合っている。法人全体で働きながら学ぶ環境が整備されており現在全員が介護福祉士を取得している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間の改善や給与面の見直しを行い、常に職場環境整備に努め、管理者の意見に耳を傾ける機会を設けています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や段階に応じて研修を推進しております。隣接している病院での研修にも全員参加しスキルを上げる機会を作っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入し職員研修会に参加しています。法人外のグループホームの管理者会議にも参加して情報交換などでサービスの質を向上する取り組みをしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様は、新しい住まい・新しい出会いは、不安だと思いますのでできるだけ寄り添いお話をお聞きしながら、不安を少しでも取りのぞき信頼関係を築けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居された時、これまでのご家族様のお悩みなどをお聞きし、穏やかに過ごしていただけるように、ご家族の要望などをお聞きし、スタッフと一緒に支援していきましょと、お話しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族の希望などお聞きし、本人様・ご家族様の仏用とされる支援を見極め、スタッフとカンファレンスし支援していきます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員との生活の中で、昔話や家事の手伝いの中から、教わること手助けることを見つけ出し、入居者様の声を傾聴し、築いています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の立場になり、面会や担当者会議、園外活動などで、悩み・喜びをお聞きし、安心できる環境づくりができるように、支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族以外に友人やデイサービスのお友達、ご近所のお友達が面会に来てくださっています。個別処遇で、昔住んでいた地域やお店・墓参り・自宅の掃除、親戚との交流に行き支援に努めています。	年2回個別処遇を実施しており、利用者の思いや希望に沿って温泉・デパート・陶芸・カラオケ・外食・お墓参りなどこれまでの馴染みの場所や生活習慣など継続できるよう支援している。また、家族の協力により美容室利用・法事・外泊等も行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居様の個性を尊重し、一人一人が個性を生かせるように、声掛けやコミュニケーションをとれるような環境ができるように、職員の話し合いで支援できるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された後も、ご家族や利用者の近況報告やフォローしています。再入居の事例もあります。ご家族からの、紹介の入居者の申し込みが増えて来ました。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何気ない日常の生活や会話の中から、本人の思いを引き出しています。又ご家族のお話をお聞きし、職員とのかかわりの中から見いだせることなども、出し合い検討しています。	ほとんどの利用者とは日常の会話で思いや意向を把握し、会話が困難な利用者からは表情や体動、家族や関係者からの情報等で本人本位に検討している。また、テレビや新聞の情報などから話題を提供して利用者の思いを聞き出すこともある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話やご家族の協力を頂いてできるだけ把握するように努めています。会話の中からその方の思いに気づき、個別処遇などで馴染みの場所などにお連れしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの性格や体調によって出来ることや出来ないことなどなどを把握して支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの在り方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	プランを作る前にスタッフとモニタリングして、本人が安心して暮らせる環境つくりと、本人の意思やご家族の思いなどを組み込みプラン作成しています。	利用者・家族の意見や希望を聞き出して趣味や生活習慣、馴染みの場所や人との関係継続などをサービスに取り入れて個々に応じた個別の介護計画を作成している。定期的にモニタリングを行って変化があれば都度見直しを行って現状に即した介護計画となっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎週火曜日にカンパレンファレンスを行い情報交換、確認をしきずいた事もまめに記録し介護にいかしています。本人や家族の思いは情報の共有化をする為にノートに記録し全員が把握するようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の体調や思いに触れる中で生活の中から楽しみを見つけ出しています、又突然の身内の葬儀など、職員とお別れにお連れする事なども行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年に2回の避難訓練は、消防所の方々の協力を頂いています。地域の方々との触れ合いに出向いて行ったり、地域のボランティアの受け入れも行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望をお聞きし、かかりつけ医で定期的に受信及び検診を行い健康管理に努めています。又専門の治療が必要な場合は、ご家族の希望を踏まえ、受診しております。	利用者・家族の希望するかかりつけ医となっている。受診は日常の状態を把握していることもあり職員が同行してかかりつけ医と直接関係を築いている。隣接する系列の病院とは24時間連携が図られている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院や特養ホームの看護師に入居者の情報を把握して頂いていますので、入居者の体調変化や気になる事などは相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	常に協力病院のソーシャルワーカーやケアマネに相談や情報提供をしています。入院後は職員ができるだけお見舞いに行くようにしています。ほのぼのでの様子や、気づきなどお話して、入院先で安心されるよう情報提供しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	御家族や本人の意向を一番に考えています。御家族には入居前、担当者会議の時説明しています。ほのぼのでは見取り事例が3件になりました。主治医、看護師、職員とチームで支援に取り組み、ご家族との連携に取り組んでいます。	重度化及び看取りに関するホームの方針は入居時に説明している。入居後は身体状況の変化に伴って主治医の判断のもと家族と方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。これまでに看取りの経験もあり主治医・看護師・職員がチームとなって支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修会の実技や看護師を交えて勉強会を行い急変時に対応できる体制を取っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練・自主訓練と地震訓練も行い避難訓練に、運営推進委員も参加して頂き協力、理解頂いています。又防災カードの利用・御家族の希望であった、ヘルメットも設置し災害対策を行っている。	年2回消防署立会いの訓練を昼夜間想定で行っている。隣接する関連施設との協力関係は話し合われており、スプリンクラー、自動通報システムも設置されて備蓄も確保されている。運営推進会議時に行うこともあり、地域の方の参加も得られ、緊急連絡網にも登録をもらっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の使用に係わる同意書を、入居時に説明し同意を頂いています。その方のこれまでの生活習慣を尊重し、尊重した声かけをしています。	個々に応じた声かけやプライドを損なわないような言葉かけに配慮して日常対応している。個々による落ち着ける居場所は本人の癒しの空間として尊重して職員間の情報共有を徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の話に耳を傾け、日常生活の中で思いや希望を見つけ出す努力をしております。思いを表現できにくい方もいますので、表情などで汲み取り自己決定を、働きかけます。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人ひとりの調子に合わせ、お好きな事を見出し、職員も共に楽しみ、幅を広げられるように希望に沿って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人のお好みや、ご家族の話をよく聞き、その人らしいオシャレが出来るように、支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を出来るだけ使い、食事の準備や後かたづけなども手伝っていただいています。季節の食材があるときなどは、美味しい食べ方などを尋ねています。	季節の野菜や食材をふんだんに使って栄養バランスのいい家庭的な食事を提供している。おやつも職員の手作りとなっている。近隣の物産館やホーム近くの無人販売所に食材の買い物に出かけたり家族とともに外食や手作り弁当持参で遠足に出かけるなど趣向を凝らして「食」を楽しんでもらっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お一人ひとりの体調に合わせ、バランスよく摂取できるように、食事形態もその方に合わせています。1日の水分補給もその方にあった、摂取方法で確保しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの確認をしています。お一人ひとりの状態に合わせてケアしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者それぞれの排泄パターンを把握し時間を見て声掛け誘導をし排泄の自立支援を行っています。	身体状況に問題がない限り、トイレでの排せつを支援している。日中は下着で過ごす利用者もあり、維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤の使用はしていますが、なるべく自然な排便が出来るように食材を気を付けたり、運動不足も便秘の原因に考えられるので、足踏み運動、外への散歩なども取り入れています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お一人ひとりの体調に合わせて、バイタルチェックし、希望を尊重して入浴しています。シャワー浴や浴槽に入られる方など体調、希望に合わせて楽しんでいただいています。	基本は週3回としているが個々の希望や身体状況に応じて柔軟に支援している。個別支援で職員が温泉に連れて行っている利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お一人ひとりの生活習慣を把握しその方にあった、休憩や希望を取り入れ、夜間寝つきが悪い時など、お話をお聞きする時間を持ち、ゆっくり休まれるように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者全員の薬リストを作成して職員全員が把握できるようにしています。又居宅管理指導を導入しており、薬剤師からの指導を職員全員受け理解に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方にあった家事手伝いや役割をみつけ出し感じていただけるようにしています。習字の練習をされる利用者様もいます。又臨床美術は、年3回開催。田上小の文化祭に出品ス楽しみも支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年6回の園外活動や、個別処遇で墓参り、陶芸、買い物、自宅等、普段会話の中で行きたいところに出かけています。又ご家族の希望を取り入れています。普段は、洗濯物の取入れや野菜の買い物、地域の掃除に出かけています。	日常的にはホーム周辺の散歩や買い物同行、ドライブなどでホームに閉じこもらない生活を支援している。また、季節の花見、初詣、外食、イルミネーション見学、水族館、くだもの刈り、地域行事見学などにも出かけている。外出レクは家族にも参加を呼びかけおり、参加が得られている。他にも年2回個々に個別処遇を実施しており、本人希望によるさまざまな外出支援も行われている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段はお金を所持することはありませんが、個別処遇で、ご家族に相談して、お土産やご自分の食べたいものを購入されています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者の希望があればすぐに対応しています。又ご家族からのお手紙や贈り物には、ご家族に電話しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度・湿度に注意して体調管理に気を付けております。トイレの脱臭の為に芳香剤の機械を昨年設置しました。玄関・食堂には季節の花を入居者に活かしていただき楽しんでいただいています。居室はその方のお好きな物や、懐かしいものに囲まれる落ち着いたお部屋に心がけてます	明るく家庭的で、広々としており生活感や季節感が得られる共用空間となっている。リビングから直接庭に出られるため開放的な造りとなっている。台所もオープンで職員の見守りもしやすく食事の準備の光景やにおいは時間の感覚と生活感を与えてくれる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファアールにゆったりとされお茶を飲まれながら話が弾まれる場所になっています。又たたみでは、洗濯ものの休憩の場として役立っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で普段使われていた物や、お好きな物をご家族に持ってきていただき、ご家族との会話が弾まれています。	ベッド・タンスは備え付けであるが、家族の写真やお気に入りの装飾品などが飾られて居心地良く過ごせるように配慮されている。各居室洗面台が設置されており整容の自立にも結び付いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者にあった部屋を作り、動きやすく繰り返しの中から、出来ることと理解していただく工夫をしています。車椅子の方でも洗濯ものを膝に置き居室に持っていかれることやドアを開けていただくよう声掛けしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない